英語E第８回

K19093　福本光重

アメリカ人は映画を見に行くのが大好きです。テレビを見たり、家族とともに過ごしたり、読書をしたり、スポーツをしたりするのと同様に、それは私たちのお気に入りの娯楽の1つです。当然のことながら、私たちのほとんどが映画に行くときは週末です。 一年で映画館が１番忙しいのは、人々が仕事と学校を休む夏です。ほとんどの夏の映画は、「ブロックバスター」タイプの大規模なアドベンチャーやSF、アニメーション映画で、若い世代や家族の視聴者にとって魅力的なものです。もちろん、日本人も映画を見に行くのが大好きです。 毎年120億ドルを超える興行収入を誇る日本は、米国に次ぐ世界第2位の映画市場です。映画が大好きな人々を収容するために、ますます多くの映画館が日本で建設されています。その結果、アメリカの新機軸の快適なスタジアムスタイルの座席を備えたシネマの数が急速に増加しています。日本とアメリカで上映される映画の大きな違いの1つは、人々が劇場に行く時間です。日本では、午後は映画を見るのに最も人気のある時間です。アメリカでは、人々は夕方に映画を見に行くのが好きです。したがって、劇場は人々に一日のいつでも映画を見に行くように奨励するいくつかの方法を考え出しました。アメリカには昼間興行があります。昼に人々を誘うことを目的とした、午後の割引料金での上映です。日本での劇場はまさにその反対です。夕方から深夜までの上映を低価格で提供し、人々が暗くなってから劇場に来るように誘います。